

(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立倉敷商業高校学校		
実践者等		近藤 昌幸	実践日	令和4年11月18日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		商業・財務会計Ⅰ(財務諸表分析)		
対象生徒(学年等)		情報処理科 2学年		
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化 ☒ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用		
		☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化		
		☐ その他()		
		家庭学習	☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☒ 補習・定着	
実践の内容				
【授業】 財務諸表分析の意味と関係比率法による分析を理解することを目標として授業を行った。任天堂の財務諸表を用いて安全性、収益性、成長性について分析を行った。 (1) 任天堂の財務諸表から気づいたことを Google Jamboard に記入する。(個人) 他の人の意見を Google Jamboard を見て確認する。「気づいたこと」を共有する。(全体) (2) 各種比率をグループで協力しながら計算する。Google スプレッドシートへグループごとに各種比率を入力する。1つのグループが1つの年度を担当し、クラス全体で経年比較(4年分)ができるようにする。(8グループ) (3) 数値、比率、グラフなどを確認しながら、財務諸表分析を行う。Google Jamboard を利用し、発表する。 個人→グループ→全体 (4) 関係比率法による分析を確認し、財務諸表分析の意味を理解させ、学習内容をまとめる。 (5) Google Forms で本時の授業の「振り返り」を行い、提出させる。 (今日の授業で学んだこと、気づいたこと、新たな疑問など)				
【本時と家庭学習との連動】 (本時後) Google Forms で関係比率法の理解度を確認する。				

